

## 2018年度 政治学研究会

政治学研究会では以下のように研究会を開催いたしました。(肩書きは当時)

- 第1回 4月19日(木) 富田武(本学法学部教授)  
書評者:立石洋子(本学法学部助教授)  
「書評・富田武『日本人記者の観た赤いロシア』(岩波書店、2017年)」
- 第2回 5月31日(木) 高安健将(本学法学部教授)  
書評者:今井貴子(本学法学部教授)  
「書評・高安健将『議院内閣制-変貌する英国モデル-』(中公新書、2018年)」
- 第3回 6月28日(木) 西山隆行(本学法学部教授)  
書評者:石神圭子(日本学術振興会)  
河村真実(神戸大学)  
「書評・西山隆行『アメリカ政治入門』(東京大学出版会、2018年)  
『アメリカ政治講座』(ちくま新書、2018年)」
- 第4回 7月19日(木) 今井貴子(本学法学部教授)  
書評者:高安健将(本学法学部教授)  
「書評・今井貴子『政権交代の政治力学  
-イギリス労働党の軌跡 1994-2010- (東京大学出版会、2018年)』」

- 第5回 9月27日(木) 池宮城陽子(アジア太平洋センター)  
書評者: 佐々木卓也(立教大学法学部教授)  
井上正也(本学法学部教授)  
司会: 高安健将(本学法学部教授)  
「書評・池宮城陽子『沖縄米軍基地と日米安保  
- 基地固定化の起源 1945-1953 -』(東京大学出版会、2018年)」
- 第6回 11月1日(木) 三村恵理奈(本学政治学研究科博士前期課程)  
「ジョンソン政権期のヴェトナム戦争の政策決定過程における  
外的要因と外的要因について」  
柳瀬まり瑛(本学政治学研究科博士前期課程)  
「生活困窮者自立支援法の政策形成過程分析」  
吉河孝幸(本学政治学研究科博士前期課程)  
「世俗国家におけるイスラームと民主主義  
- なぜトルコ国民はエルドアン政権を受け入れたのか -」
- 第7回 1月17日(木) 板橋拓巳(本学法学部教授)  
「ドイツにおける右翼ポピュリスト政党の台頭とその歴史的・  
政治学的意味」
- 第8回 1月31日(木) 加藤節(本学名誉教授)  
書評者: 平石耕(本学法学部教授)  
「書評・加藤節『ジョン・ロック』(岩波書店、2018年)」